

## 第3回会議の評価手順案に対する主なご意見と対応について

資料1-1

項目	内容	対応案
計画全体について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地区に施設の機能が適正に配置されているという前提なのであれば理解できる。この点については補足説明した方が良いと思う。</li> <li>○再編案を作成する際、最終結果のみではなく、過程や期間・変化を示すことが大切。途中過程を文章で示すなど、丁寧に説明してほしい。</li> <li>○長期的な時間スパンで見た場合人口動態が非常に気になる。とくに小中学校など圏域Ⅲの施設は人口動態を加味しないとイケない。</li> </ul>	<p>【計画改定での対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○配置方針の対象施設は、方針を越える新たな施設整備を行わないことを記載します。</li> <li>○再編案公表の参考とさせていただきます。</li> <li>○長期的な時間軸と整合させるため、次期改定のタイミングを記載します。</li> </ul>
評価手順について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用度評価と老朽度評価はフロー関係ではなく組み合わせで判定するということが分かりやすくしたほうが良い。</li> <li>○プールは他のスポーツ施設と異なり相対比較により1か所とすることを記載したほうが良い。</li> <li>○老朽度評価は、いまの表現だと逆の意味に捉えかねられないので、1マイナス老朽化率と表記するとわかりやすいのではないか。</li> <li>○地区図書館・図書室の利用度は全市で3か年平均の平均値を下回るか否かであるということが伝わるようにしてほしい。</li> </ul>	<p>資料の該当箇所を修正します。 (資料1-2をご参照ください)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再編案と手順の関係について、事業評価で存続が決まったものは、そのまま残すのか。それとも機能は機能で整理し、再編案でどこに配置するか決めるのか。</li> </ul>	<p>×事業評価と更新時期評価を経て存続が決まったものは、基本的にはソフトもハードも存続する。それをあとで覆すことは原則ない。</p> <p>○事業存続は確定するものの、他に複合化にふさわしい施設があれば、再編案作成時に移転も選択肢に入る。</p>
コスト評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コスト評価について、発生主義的な部分が減価償却累計額くらいしか入っていないので、人件費などの要素もあると良い。</li> </ul>	<p>委員意見を伺いながら、手法を含め再検討します。</p>